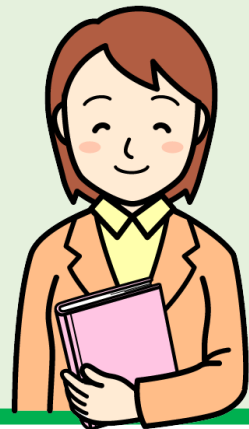


令和8年度矢巾町議会 第1回議会を二夕一会議 実施報告書

《令和8年6月26日実施》



矢巾町議会では、議会の活動状況などについての意見を広く町民から聴き、議会運営などに反映させ、より円滑で民主的な体制にしていくことを目的に、令和8年4月から議会モニター制度を導入しました。

令和8年6月26日に開催した第1回議会モニター会議では、令和8年5月15日までに応募をいただいた議会モニターの皆さまと直接お会いし、議会モニターとしての主な活動内容などを確認・共有した後、意見交換を行いました。



—— 第1回議会モニター会議の次第 ——

- 1 開 会
- 2 広報広聴常任委員長あいさつ
- 3 委嘱状交付、議長あいさつ
- 4 出席議員からの自己紹介
- 5 議会モニター様からの自己紹介
- 6 趣旨説明（議会モニターとは）
- 7 意見交換・フリートーク
- 8 集合写真撮影
- 9 閉 会

▼議会モニター様から応募理由を伺いました！

・大平 諒さん（南矢巾7区）

議員の皆さんの活動を知って、自分も町民として協力できることがあれば協力したい。

・建部 詩子さん（南矢巾7区）

去年の議員の学校が有意義で、さらに学びたい部分が多く即応募した。

・長峯 光希さん（高田3区）

議会改革や町のために尽力する議員への敬意を示し、微力ながら力になりたい。

・高橋 憲康さん（南矢幅1区）

去年の参加で議員の悩みや課題を感じ、モニターとして気づいたことを伝えたい。

▼趣旨説明の内容

●議会モニターとは

- ・矢巾町議会の活動状況について広く町民から意見を聞いて、議会の運営等に反映させ、民主的な運営を推進することを目的とする。
- ・議会をより開かれたものとし、町民にとって分かりやすく身近な議会にしていくための取り組みであり、町民の率直な意見が議会にとって非常に重要なので 難しく考えず、気づいたことを気軽に寄せてほしい。

●モニターの主な役割

- ・モニターは、次のような活動を年1つ以上行う。
- ・本会議、常任委員会等（非公開を除く）を傍聴し、運営に関する意見を文書で提出議会だより・ホームページの改善点を文書で提出。
- ・議長から依頼された調査への回答。
- ・その他、議長が必要と認めた事項。

●議会の専門知識は不要

- ・町民として感じたこと、良かった点、改善した方が良い点等を、そのまま意見としてお寄せいただくことが大事。

●定例会の傍聴

- ・年4回（6月・9月・12月・3月）
- ・毎回参加の義務はなく、都合の良い範囲で良い。
- ・一般質問はYouTubeでも視聴可能。

●議会だよりへの意見

- ・年4回発行の議会だよりについて「わかりやすさ」「読みやすさ」「載せてほしい内容」等を提出。

●ホームページへの意見

- ・見やすさ、情報の探しやすさ、掲載希望などを提出。

●モニター会議

- ・必要に応じて開催。

●その他

- ・町民と議員をつなぐ会、議会フォーラム等への参加も歓迎。

●意見の扱い

- ・提出されたご意見は、議長を通じて関係する委員会に送られ、検討結果を通知する。

●他市議会でのモニターの取り組み紹介

- ・一関市・花巻市・久慈市等では、モニターと議員の意見交換会を実施。

▼意見交換・フリートークの内容

（高橋憲康さん） モニター会議が不定期と書いてあるが、例えばどんな場合に開催することを考えているか。

（藤原信悦委員長） 例えば大きな定例会の後、6月・9月・12月・3月の年4回であれば情報共有もしやすく開催しやすいのではないかと個人的に考えている。

（小笠原佳子副委員長） スタートを切ったばかりであるが、少なくとも最初と最後の2回はやりたいと広聴分科会の会議の中でも話していた。定例会の後が良いのか、こういった会を持つことが負担にならないか、皆様のご意見をお聞きしたい。

（建部詩子さん） 平日のこの時間は仕事が終わった後に来られるので良い。会って顔を見て話をすることが大事だと思う。

(大平諒さん) 定例会のあと等、一定の周期で決められた日に参加するというのがモニターとしても活動しやすいと感じる。

(長峯光希さん) 定期的に、この時間帯だと参加しやすい。モニター同士でも活動できているかお互いに見えないので、一堂に会する方がいいと思う。

(高橋憲康さん) モニターが顔を合わせて、議員さんがちょっと外れたところでモニターだけで意見交換する場がほしい。モニター同士で、ある程度まとまりをつくっていったらいいと思う。ある程度日にちを決めた方が、次の活動も考えられると思う。突然会議をされると言われても、なかなか考えがまとまらないこともある。

(ササキマサヒロ委員) 皆さん何曜日とか何週目が良いとかの希望はあるか。

(小笠原佳子副委員長) 6時が良いというお話は先ほどいただいた。曜日は必ずしも固定しなくてもよいか。

(ササキマサヒロ委員) 日程はある程度早めに分かった方がよいか。後日、それぞれの希望をメールでいただき、それを踏まえて検討しお知らせする。